



○ つれづれ

前⑩号の最後は「～発見すること・おもしろいことがいっぱいです。」と文章を閉じましたが、今回はそれについてつれづれにいくつか紹介したいと思います。私的なことも出てくるとは思いますので読み流してみてください。

発見：まずは幼稚園・保育園訪問のことから。今週は本校学生の実習先として周南市の蓮生・まこと幼稚園に2年生が、光市の東光保育園に1年生が訪問してきました。先月は防府市の多々良幼稚園に広報の関係からお邪魔しました。先日はYICグループとして宇部フロンティア大学(香川学園)を見学に行き、付属幼稚園も訪問しました。規模としては園児数が200名前後というところでした。4つの園を訪問する機会がありましたが、どの園も環境整備や教育・保育方針がしっかりしているとともに、特色を出そうと工夫されていることが分かりました。共通点はどこも皆きれいだという事です。

さて、中学校から小学校に転勤してから発見したことがあります。私自身の幼少時、ある幼稚園に通っていました。卒園して小学校入学時には分かれる友達もいましたが、中学校に入学したとき、再会しました。そのような経験から、園に通ってくるのは皆地元の子どもたちだという先入観がありました。しかし、違うんですね。一例ですが、住所は岩国、勤務先は周南、それで園は2号線沿いの熊毛という状況の家庭もありました。小学校に入学してくるピカピカの1年生は皆が皆顔見知りではないという発見です。10名ちょっとの新入生の出身園が5つということもありました。その方面では常識なのだと思いますが、私には新鮮な驚きでした。小学校新1年生がドキドキしながら入学する心理が分かったような気がしました。

おもしろい：中学生相手に話をしてきた私は小学校低学年にどんな話し方をしているのか分からずに戸惑ったことがあります。しかし、直接たくさんふれあいを重ねていくうちにじわじわとコツが分かっていきます。先日、本校の2年生が動物園に行くことを想定したお遊びの指導案を練り、学生を幼児に見立てて実践練習をしていく授業を参観しました。傍らで見ていた私には学生のことばの選び方・遣い方などについて「そのことばは園児には理解できないよ。」と突っ込みを入れたくなりましたが、空き容量の大きい(経験値の少ない)学生には現段階では無理もないことかもしれません。反省会では担任の中村先生が、私が突っ込みたかったことをすべて(それ以上に)適切に指摘・指導されました。今後いろいろな経験を恐れずに積んでほしいと思いました。

自校自賛

① 保育園見学実習

(光市東光保育園にて →)

緊張気味の1年生たちです。
手前にも色とりどりのチューリップが咲いています。

② 卒業生のことば

ある日、本校の卒業生が訪れ、立ち話をしたときにうれしかったことば。

**「子どもの変化・成長を見ることが
できるのが楽しいです。」**

